

6.2 コンテナヤードPC舗装版

コンテナヤードPC舗装版は、トランスファークレーンが走行するための版(テナー走行版)、コンテナを支持するための版(コンテナ版)等、コンテナヤードの重荷重を支持する部分に使用される。版にプレストレスを与えることにより、重荷重に対するひび割れ抵抗性・たわみ追随性が高くなり、耐久性に優れた構造である。

PC舗装版の施工は、①現地で製作する方法と、②工場で製作したプレキャストPC舗装版(PC版)を現地で敷設する方法がある。

後者のプレキャストPC舗装版は、①コンクリートの現地での養生時間の不要に伴う工期の短縮、②PC版の段差修復、損傷したPC版の取り換えが可能である、等のメリットもある。構造上の弱点になると考えられる版同士の接合箇所となる目地部には、荷重伝達装置として水平ジョイントを用いるため、構造的にも連続性が保たれる。ジョイント材はコンプレッサーにより圧送することによりセットする。

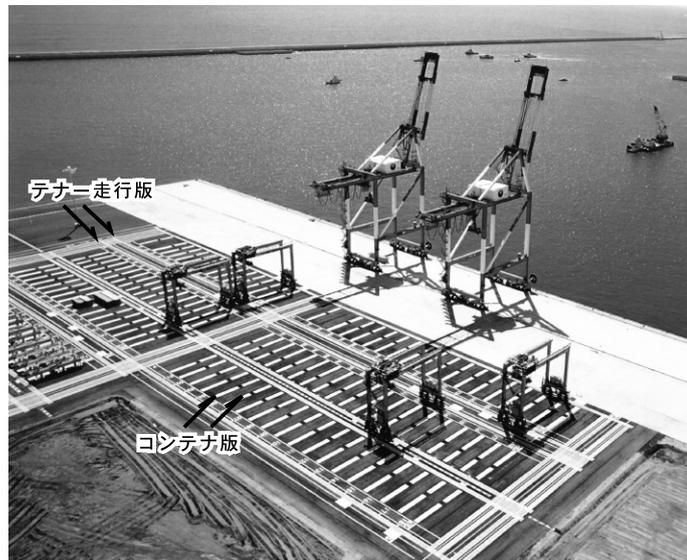


写真-6.1 常陸那珂港コンテナヤードPC舗装版

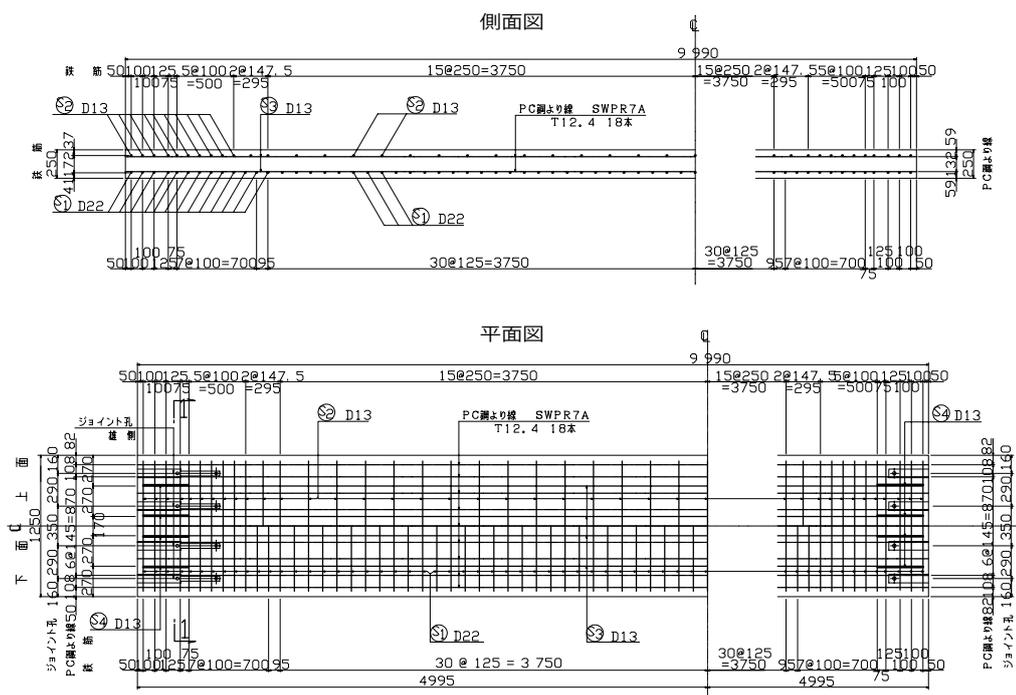


図-6.2 PCプレキャスト版配筋図